

神戈陵を渡る風3

令和5年度 川辺高校 校長通信 第108号(通算)

令和5年6月23日(金)発行

6月ももう残すところあと一週間です。来週の土曜日からは7月です。その前に、期末考査があります。学生にとっては、大事な試練です。中間考査を振り返ったとき、このままでいいのか？ という人も見受けられたように思います。まずは、必死になることです。楽しんで、運を天に任せても神様はそんなに甘くはありません。まもなく明けるであろうに梅雨に負けない辺高生のパワーを発揮して、皆さんの溢れる笑顔が見られるような学校生活をおくれることを期待しています。



学 年 朝 礼

令和5年6月5日(月)

【3学年】 寺田先生の講話



村上宗隆(プロ野球選手・ヤクルト)の出ているCMで、プロ野球選手になるのは「無理だ」「諦めた方がいい」と言われていた。しかし彼は、「自分の心は自分で決める」「自分を信じて前に進むだけ」と決意し努力を続けて今がある。みんなも、掲げた進路目標に周囲から「無理だ」と言われることがあるかもしれない。自分の将来は自分で決めるもの。諦めずに頑張りたい。ただし、村上選手が目標を実現したのは、相当の努力があったはず。努力なしに夢は叶わない。自分を信じて努力しよう。

【2学年】 藏先生の講話



「美艷難佳汝を玉にす」

この言葉は、「人は多くの苦しみや困難を乗り越えて初めて立派な人間になる」という意味の言葉です。まったくもってその通りだと思うのですが、「なぜ立派になれるのか」私なりの解

釈を加えておきたいと思います。

困難に出会ったとき、われわれは何をしますか。物事がうまくいかないとき我々は現状のまま過ごし続けますか。問題を解決しようと、考えるはず。問題を解決しようと工夫して取り組もうとするはず。自分が持っている知識を活用して問題を解決する、この能力のことを知恵といいます。「必要は発明の母」という言葉もありますが、困難を乗り越えようとする工夫から知恵は生まれるものです。

【1学年】 當房先生の講話



入学してから2ヶ月が経過。

中学生から高校生に完全に変わったかだろうか？

制服や教材、スケジュールなど外面は変わっていても、生き方、考え方まで含めて「ホンモノの高校生」をめざしてほしい。

中学生とは異なる「ホンモノの高校生」とは？やはり卒業後の進路・人生を見通して、本格的に「自分」を作り上げていく存在であろう。将来どの様な役割(職業)を担って生きていくのか？ どの様な価値観(世界観、人生観)をもって生きていくのか？

夢が大きければ大きいほど、目標が高ければ高いほど、それを叶える力を養成するには時間が必要。高校1年生から始めて決して早いことはない。一方で、今始めれば、いかようにも夢や可能性は広がっていくのだ。

神 戈 陵 祭 文 化 祭

令和5年6月10日(土)

【準備期間中の様子】



【キッチンカー】 初お目見え!!



【ステージ】



↑ 3年1組の劇・ダンス

3年2組の劇・ダンス→



緊張しましたが、アナウンスも頑張っていました。堂々とした文化祭実行委員長の挨拶は立派でした。また、校長もクラリネットを演奏しました。



有志と音楽部のステージは、色々な個性があつてとても素晴らしかったです。



書道部の書道パフォーマンスは、今回も素晴らしい出来ました。ブラックライトの効果もバッチリ!!

【展示】

生徒達の作品は色々と工夫を凝らし楽しんでいました。暑い中、お化け屋敷やサイエンス部の理科実験も開催しました。



今年も、生徒や見学者の皆さんにたくさんの笑顔が溢れた素敵な文化祭でした。